2012年5月8日 伊藤忠商事株式会社

(単位:億円 △損失、減少)

2011年度第4四半期(3か月)決算の概要

- ・当第4四半期の「当社株主帰属四半期純利益」は、前年同期比694億円増益の816億円と第4四半期単独では、過去最高益を達成。全四半期を通じた比較では、過去3番目の水準となった。
- ・セグメント別では、全てのセグメントにおいて前年同期比増益を達成。金属・エネルギーでは249億円増益の471億円、機械・情報では102億円増益の129億円、食料では前年同期の東日本大震災の影響及び持分法投資に係る評価損失計上の反動もあり133億円 好転の83億円、生活資材・化学品では30億円増益の80億円、繊維では48億円増益の73億円、建設・不動産では23億円増益の47億円、金融・保険・物流は前年同期の事業会社整理損失の反動もあり54億円好転の15億円となった。
- ・分野別比率は、資源・エネルギー関連58%、生活消費関連24%、機械関連16%、化学品・建設他2%。

【連結損益計算書】 収 益	新規連結子会社化等)、建設·不動産						
売上総利益(注2) 2,755 2,560 + 195 (投資家向け賃貸用不動産の売却及びマンション販売事業における販売増加等)において増収	新規連結子会社化等)、建設・不動産						
	(投資家向け賃貸用不動産の売却及びマンション販売事業における販売増加等)において増収						
その他の収益(△費用) · 売上総利益:							
販売費及び一般管理費 (注2)							
貸倒引当金繰入額							
金利収支 1 Δ 35 Δ 34 Δ 1 Δ 34 Δ 1 Δ 34 Δ 35 Δ 34 Δ 35 Δ 36 Δ 36 Δ 36 Δ 37 Δ 37 Δ 37 Δ 38							
受取配当金							
(金融収支) (金融収支) (1 (25							
投資及び有価証券に係る損益 123 A 102 + 225 B 建設/増益(76→101): 投資家向け賃貸用不動産の売却及びマンション販売事業における販売増加等							
固定資産に係る損益 △ 60 △ 322 + 263 金保物/減益(45→44):物流関連事業での取扱増加あるも、組織改編に伴う他部への移管等							
子会社取得におけるパードン 54	・販売費及び一般管理費:連結除外及び経費削減効果による減少等あるも、既存会社の収益拡大に伴う経費の増加、Kwik-Fitゲループの新規連結子会社化の影響等により増加						
その他の損益							
その他の収益(△費用)計							
税引前利益 898 287 + 611 ・金融収支:石油がス関連投資及びLNG関連投資等からの配当金の増加							
法人税等							
税引後利益 80 + 581 · 投資及び有価証券に係る損益 :株式売却損益+147、株式評価損+43、事業整理損他+35	・ 投資及び有価証券に係る損益 :株式売却損益+147、株式評価損+43、事業整理損他+35						
持分法による投資損益 213 213 90 + 123 · 固定資産に係る損益 : 固定資産評価損〔保有固定資産・油がス田権益に係る減損損失の大幅減少等〕+245、固定資産売却損益他+18	, - 						
四半期純利益 874 170 十 704 <u>国及民族</u> ·国及吴族·国及吴族·国及吴族·国及吴族·国及吴族·国及吴族·国及吴族·国及吴族							
非支配持分帰属四半期純利益							
当社株主帰属四半期純利益 816 122 十 694 · その他の損益:雑損益の改善、前年同期における船舶取引に係る損失計上の反動等							
売上高 30,963 28,749 + 2,214 ⋅ 持分法による投資損益: プリマハム㈱(注3)〔前年同期における投資の評価損失計上(注4)の反動+56〕、伊藤忠丸紅鉄鋼㈱+21、ITOCHU Coal Americas Inc	c.+21 、						
(売上総利益率) (8.9%) (8.9%) (ASAHI BREWERIES ITOCHU (HOLDINGS) LTD.+13 等							
<u> </u>							
実態利益 940 883 十 56 (注2)当社グループにおける食品中間流通事業の統合に伴い、当期より当該事業に係る物流経費等の表示科目を変更しております。これに伴い、前年同期の数値も同様に組替えて表示しておりませ、これに伴い、前年同期の数値も同様に組替えて表示しておりませ、これに伴い、前年同期の数値も同様に組替えて表示しておりませ、これに伴い、前年同期の数値も同様に組替えて表示しておりませ、これに伴い、前年同期の数値も同様に組替えて表示しておりません。	示しております。						
実態利益=元上総利益+販売資及の一般管理費+金融収支+持分法による投資損益							
【連結包括損益計算書】	主たる増減要因						
<u>四半期純利益</u> 8/4 1/0 + 704 の芸社区が別内訳 第4四十朔 第4四十列 第4回十列 第4回 第4回十列 第4回列 第4回十列 第4回十列 第4回十列 第4回十列 第4回十列 第4回列 第4回列 第4回列 第4回列 第4回列 第4回列 第4回							
その他の包括損益(税効果控除後):	江新 OF 海州 次活明 市市コ 安 ニ・ハルフ 学 サ						
***- ***・	活動 CF:海外資源関連取引等における営業収入が堅調に推移、金属・エネルギー及び建設・						
年金債務調整額	産等でたな卸資産が減少等により1,187億						
未実現有価証券損益 229	ネット入金となった						
未実現テリハティフ評価損益 4 + 1 連結修正 Δ 214 Δ 489 + 2/5 1 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	活動 CF: 資源開発関連における株式売却						
CONSCIENT CO	等、39億円のネット入金となった ・ 財務活動 CF: 借入金の返済等により、196億円の						
包括損益	支払となった						
非支配持分帰属包括損益							
当社株主帰属包括損益 1,623 Δ 2 + 1,625 (海外事業損益比率) (57%) (184	· 0.5.+						
	(注5)海外事業損益は、海外現地法人及び海外事業会社の損益合計に、親会社の海外支店及び収益源が海外にある特定海外事業のために日本に設立された会社の損益を加えたものです。						
オペレーティング 当社株主帰属四半期純利益 【当社株主帰属四半期純利益】 主たる増減要因	(参考)営業利益(注6)						
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 	11年度 2010年度 前年同期比 四半期 第4四半期						
第4四十初 第4四十初 第4四十初 第4四十初 第4四十初 第4四十初 第4四十初 第4四十 第4四十 第4四十 第4四十 第4四十 第4四十 第4四十 第4四十	54四十朔						

オペレーティング		当社株主帰属四半期純利益		純利益	【当社株主帰属四半期純利益】 主たる増減要因	(参考) 営業利益(注6)			
		セグメント情報	2011年度 第4四半期	2010年度 第4四半期	前年同期比	(注6)営業利益の主たる増減要因については、「平成24年3月期 決算」 添付資料P.38-39参照	2011年度 第4四半期	2010年度 第4四半期	前年同期比
繊維		73	25	+ 48	前年同期にアパレル関連事業の事業整理損失を計上したことの反動等により増益	59	58	+ 1	
機械・情報		129	27	+ 102	営業利益の増加、事業会社の売却に伴う利益の計上及び持分法投資損益の増加等に加え、前年同期の有価証券評価損及び船舶関連損失計上 の反動もあり増益	180	168	+ 11	
金属・エネルギー		471	222	+ 249	営業利益は減少したものの、受取配当金の増加、有価証券売却益及び日伯鉄鉱石㈱の支配獲得に伴う利益計上(パーゲンパーチェス益)に加え、油ガ ス田権益に係る損失の大幅減少等もあり増益	285	427	Δ 141	
生活資材・化学品		80	50	+ 30	営業利益の減少及びパルプ市況低調による持分法投資損益の減少等があったものの、既存連結子会社であったタイヤ卸売事業に係る売却益計上及 び前年同期の固定資産減損損失計上の反動等により増益	43	82	Δ 39	
食料		83	Δ 49	+ 133	前年同期における東日本大震災の損失計上の反動及び前年同期の持分法投資に係る評価損計上の反動等により好転	66	64	+ 2	
建設•不動	產	47	23	+ 23	営業利益の増加及び前年同期の固定資産減損損失計上の反動に加え、持分法投資損益の増加等があったため増益	57	34	+ 23	
その他・ 修正消去	金融•保険•物流	15	Δ 40	+ 54	営業利益の好転及び前年同期の金融関連事業における事業リストラ損失計上の反動等があったことにより好転	17	Δ 12	+ 29	
	修正消去等	Δ 82	Δ 136	+ 54	営業利益の改善及び前年同期の固定資産減損損失計上の反動に加え、前年同期の持分法投資に係る評価損計上の反動等もあり改善	Δ 68	Δ 106	+ 38	
合 計		816	122	+ 694		638	714	Δ 76	